

【根室管内】新聞を活用した教育活動の推進（別海町立野付小学校）



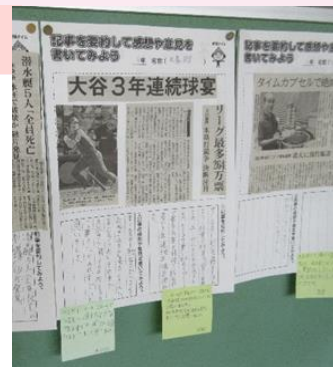
子ども一人一部の新聞を配付「別海町新聞の日」

別海町では、学びの土台となる資質・能力を育成するため、新聞を活用した教育活動を推進しています。毎日の各学校への新聞配付のほか、毎月最終月曜日を「別海町新聞の日」と定め、児童生徒一人一人に新聞を配付して各学校における新聞を活用した学びを後押ししています。

新聞を活用した学びの土台づくりの取組

野付小学校では、「朝新聞の日」を日課に位置付け、全児童が新聞を読む機会を毎週設定しています。学校図書館前には、複数の新聞を読み比べることができる新聞コーナーを設け、学校司書が新聞への興味関心が高まるようPOPやクイズなどで工夫し、新聞と出会う環境づくりをしています。

興味をもった記事を要約して自分の考えを書く活動を継続し、考えを広げたり深めたりする機会となるよう、ワークシートを廊下に掲示して交流しています。



【宗谷管内】本とふれあう機会を充実させる取組（利尻富士町立鴛泊小学校）

おしどまり

子ども目線で選んだ本の展示

鴛泊小学校では、学校図書館の図書の購入・廃棄を計画的に行い、授業等で活用しているほか、図書委員会の児童が、低・中・高学年からそれぞれ好きな本のアンケートを行い、まとめたポスターを作成し掲示しています。学校図書館の前の廊下にコーナーを設置し、自由に本を手にとって見られるように展示しています。

図書ボランティアサークル「りっぷの森」による学校での読み聞かせ

利尻富士町では「利尻富士町子ども読書プラン」に基づき、子どもたちの読書習慣が定着するよう読書活動を推進しています。図書ボランティアサークル「りっぷの森」が毎月鴛泊小学校を訪問し、本の読み聞かせやブックトークを行っています。ボランティアとの連携により、子どもたちの読書環境のさらなる充実につながっています。

